

令和 8 年度 事業計画書

1. 財務基盤の維持・強化

昨年度も、役員・職員・館生が一体となった収入確保および経費削減の取組により、期末における現預金残高および特定資産積立金の合計は 30 百万円となる見込みであり、安定した運転資金を確保できる状況となりました。

なお、大規模修繕積立金は年 100 万円、駐車場修繕積立金は年 50 万円の積立を継続し、将来の施設維持に備えます。

2. 館生 40 名体制の安定的維持

昨年度は、早期の募集活動により 11 名の新入館生を迎え、満室体制を維持することができました。

今後は、少子化等の社会環境の変化を踏まえつつ、募集広報活動の充実および入館選考時期の最適化を図り、安定的な館生確保を継続します。必要に応じて応募資格等の見直しについても検討を進めます。

3. 法人運営体制の充実

法人運営の継続性確保の観点から、役員の世代交代を計画的に進めることが重要な課題となっています。

卒館生の中から法人運営や地域活動に関心を有する人材を積極的に発掘・育成し、将来の理事候補としての基盤づくりを進めます。あわせて、現役員との意見交換の機会を設け、円滑な運営体制の移行を図ります。

4. 寮環境の計画的整備

新築後 23 年が経過し、一斉に設備機器の更新時期を迎えていることから、館生の安全・安心な生活環境を維持するため、計画的な整備を進めます。

特に、電気・水道等のインフラ関連設備および厨房機器等については、優先順位を明確にした上で順次更新を実施します。

5. 育英事業協力金の安定確保

法人会員会費の確実な納入管理を継続するとともに、卒館生への協力金納入の働きかけを継続して行います。

あわせて、将来的な安定確保の観点から、納入方法等の見直しについて検討を進めます。今年度の目標額は 260 万円とします。

(総括)

本年度は、安定した財務基盤のもと、館生確保、運営体制の充実および施設整備を着実に進め、持続可能な寮運営の実現を目指します。